

令和3年度児童相談所関連研修

司法面接(第2回)

同内容で、第1回を5月、第3回を12月に実施します。第3回の募集については、別途お知らせします。

日程 7月1日(木)・2日(金)【2日間】

ねらい 子どもの心理的負担に配慮しながら、多機関と連携し、虐待被害等の迅速かつ正確な情報収集を行う能力の強化を図る。

対象 児童相談所及び子ども家庭支援センターを含む福祉関連施設等に勤務する職員、児童福祉司任用前講習会・指定講習会修了者、その他子ども家庭福祉行政に携わる職員【定員30名】

場所 特別区職員研修所(千代田区神田相生町1 秋葉原センタープレイスビル4～6階)

カリキュラム

講義、グループワーク、面接演習、演習の振り返りなどを通して、正確な情報収集力の強化を図ります。また、面接演習では、面接者役、被面接者役、バックスタッフ役を体験します。実際に面接演習場面を録画し、その映像を全体で見ながら面接の振り返りを行うことで、司法面接に関する知識とスキルを共有します。

7月	時間	教科目・講師(敬称略)	
1日 (木)	9:00 ~ 17:00	司法面接の概要と多機関連携の意義 ・司法面接の概要 ・多機関連携の意義 ・自由報告の練習	立命館大学 OIC 総合研究機構 教授 仲 真紀子
		NICHHDプロトコルを用いた 正確な情報の聴取 ・DVDを用いたミニ面接演習	司法面接研修トレーナー 武田 知明 特別区 職員
		面接の流れと計画の策定 児童虐待対応における 東京地方検察庁と警視庁の取組み	東京地方検察庁 犯罪被害者支援室 職員 警視庁 刑事部 刑事総務課 職員
2日 (金)	9:00 ~ 17:00	子どもの面接演習とロールプレイ① ・補助的な証拠に基づく聴取 ・話さない子どもへの対応	立命館大学 OIC 総合研究機構 教授 仲 真紀子
		子どもの面接演習とロールプレイ② ・子どもから発せられる難しい質問への対応法 ・研修のまとめ	司法面接研修トレーナー 武田 知明 特別区 職員
計		2日間(14時間) ※途中昼休憩等有り	